

2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日

上場会社名	ザインエレクトロニクス株式会社	上場取引所 東
コード番号	6769	URL https://www.thine.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南 洋一郎	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 山本 武男	TEL 03 (5217) 6660
配当支払開始予定日	—	
決算補足説明資料作成の有無	: 有	
決算説明会開催の有無	: 無	

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	949	35.0	△410	—	△361	—	△379	—
2025年12月期第1四半期	703	△23.4	△205	—	△343	—	△261	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 △308百万円 (—%) 2025年12月期第1四半期 19百万円 (119.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△36.11	—
2025年12月期第1四半期	△24.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	9,513	8,455	86.9
2025年12月期	9,665	8,917	90.4

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 8,267百万円 2025年12月期 8,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,508	65.6	△390	—	△316	—	△333	—	△31.71
通期	6,695	44.3	13	—	85	—	3	—	0.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	12,340,100株	2025年12月期	12,340,100株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	1,827,737株	2025年12月期	1,827,737株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	10,512,363株	2025年12月期 1 Q	10,680,363株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調で推移した一方、資源価格の高騰、物価上昇への懸念や中東情勢の緊迫化等の不安定な世界情勢により先行きの不透明感が継続しております。このような環境の下で、当社グループは2027年度を目標年次とする中期経営戦略「Innovate100」を推進しております。半導体、AI/IoTソリューション等から成る事業ポートフォリオを活かしつつ、今後の経済社会において、AI活用ユースケースの適用加速に寄与する革新的なソリューションを提供し、経済社会の生産性向上に取り組み、2027年度に連結売上高100億円超の実現を目指します。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、LSI事業では、米国市場向け等の海外市場においては順調に推移した一方で、国内市場においてはアミューズメント機器市場向けに回復傾向が見え始めましたがOA機器向けが低調に推移し、全体として前期比26%の減少となりました。AIOT事業では、前期第3四半期より量産出荷を本格開始したスマートメーター向け製品の出荷が順調に増加したことが貢献し、前期比171%の増加となりました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、9億49百万円（前期比35.0%増）となり、売上総利益は3億29百万円（前期比20.5%減）となりました。販売費および一般管理費については、中期経営戦略「Innovate100」目標の達成に向けた戦略的な研究開発投資（4億21百万円、前期比42.3%増）を積極的に行った結果、販売費および一般管理費全体として、7億40百万円（前期比19.4%増）となりました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業損失は4億10百万円（前期は営業損失2億5百万円）、減価償却費等を考慮しない営業利益（EBITDA※）はマイナス3億96百万円（前期はマイナス1億88百万円）となりました。また、前期末比で為替が円安に推移した影響により為替差益50百万円を計上する等した結果、経常損失は3億61百万円（前期は経常損失3億43百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億79百万円（前期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億61百万円）となりました。

※ EBITDA (Earnings before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)

当社グループでは簡易的に営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

(セグメント別の状況)

当社グループは、LSI事業とAIOT事業を軸として事業活動を推進しており、これらを事業セグメント区分としております。

(単位：百万円)

		2026年12月期 第1四半期	2025年12月期 第1四半期	増減率 (%)
LSI事業	売上高	360	485	△25.8
	営業利益	△400	△168	—
	EBITDA	△386	△151	—
AIOT事業	売上高	588	217	+171.0
	営業利益	△10	△37	—
	EBITDA	△9	△36	—
合計	売上高	949	703	+35.0
	営業利益	△410	△205	—
	EBITDA	△396	△188	—

※セグメント間の取引を相殺消去後の金額で記載しております。

(LSI事業)

当第1四半期連結累計期間のLSI事業の売上高は、米国市場等の海外市場においては順調に推移した一方、日本市場では全体的に低調に推移し、前期比26%の減少となりました。

産業機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の56%を占めております。アミューズメント機器市場向けにおいては顧客の在庫調整等の影響の回復傾向が見え始めた一方でOA機器向けは低調に推移し、産業機器市場向け全体としては前期比34%の減少となりました。

車載機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の25%を占めております。EVパネル向け新製品等の拡販活動を継続し、米国市場向け等において出荷が増加した結果、車載機器市場向け全体としては前期比3%の増加となりました。

民生機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の19%を占めております。次世代高速インターフェース標準技術「V-by-One HS plus Standard」の提供は順調に進行しておりますが、民生機器市場向け全体としては前期比27%の減少となりました。

これらの結果、LSI事業全体の売上高は3億60百万円（前期比25.8%減）、売上総利益は2億35百万円（前期比32.7%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、中期経営戦略「Innovate100」目標の達成に向けた戦略的な研究開発および次期中期経営戦略を含む中長期的な成長に向けた新規技術開発等を積極的に実施しました。EVパネル向け高速インターフェースV-by-One[®]HS新製品のラインアップ拡充、世界初のAIサーバー次世代コンピューティング向け低消費電力・低遅延光半導体技術の開発、新規電源製品の開発、スマートモジュール活用ソリューションの開発、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発等を行い、これらの活動により、当第1四半期連結累計期間において研究開発費4億10百万円を計上しました。また、当社が進める光半導体新製品開発について、2026年3月に米国ロサンゼルスで開催された世界最大の光通信技術展である2026 Optical Fiber Communications Conference and Exhibition (OFC2026)に当社独自のDSPレス光半導体ソリューションを出展し、ご来場頂いた多くの企業から高いご関心を頂きました。今後、次世代通信規格であるPCI Express6.0に対応した光半導体チップセットを2027年に、そしてPCI Express7.0に対応した光半導体チップセットを2028年にそれぞれ量産出荷する計画で開発を加速して参ります。なお、これらの製品の開発は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の助成事業の支援を受けて進めております。

これらの結果、LSI事業の当第1四半期連結累計期間における営業損失は4億円（前期は営業損失1億68百万円）、EBITDAはマイナス3億86百万円（前期はマイナス1億51百万円）となりました。

（AIOT事業）

当第1四半期連結累計期間のAIOT事業の売上高は、前期第3四半期より量産出荷を本格開始したスマートメーター向け製品の出荷が順調に増加し、通信モジュール製品売上が前期比で273%増と大幅に増加したこと等により、前期比で171%の増加となりました。これらの結果、AIOT事業の売上高は5億88百万円（前期比171.0%増）、売上総利益は93百万円（前期比46.2%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、AI・IoTを活用する新ニーズの拡大による新しいアプリケーション市場の拡大を見据えたソリューションの開発に取り組み、エッジAI処理用モジュール製品の開発、音声通話機能付きゲートウェイ新製品の開発、スマートIoTルーターの開発等を行い、全体として研究開発費11百万円を計上いたしました。

これらの結果、AIOT事業の当第一四半期連結累計期間における営業損失は10百万円（前期は営業損失37百万円）、EBITDAはマイナス9百万円（前期はEBITDA 36百万円）となりました。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

（2）財政状態に関する説明

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純損失を3億59百万円計上し、棚卸資産が1億91百万円増加したことおよび為替差益37百万円を計上した一方、売上債権が9億52百万円減少したことおよび仕入債務が2億41百万円増加したこと等により6億34百万円のプラスとなりました。（前年同期は3億28百万円のプラス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、固定資産の取得7百万円等により6百万円のマイナスとなりました。（前年同期は1億13百万円のプラス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払1億57百万円等により1億60百万円のマイナスとなりました。（前年同期は1億66百万円のマイナス）

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として4億97百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末残高は69億52百万円となりました。当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期業績予想については、2026年2月5日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,454,287	6,952,046
売掛金	1,482,974	532,226
商品及び製品	666,102	906,257
仕掛品	138,946	90,474
原材料	129,439	130,347
その他	250,593	273,885
流動資産合計	9,122,344	8,885,238
固定資産		
有形固定資産	135,023	131,390
無形固定資産		
その他	50,680	46,818
無形固定資産合計	50,680	46,818
投資その他の資産		
投資有価証券	257,938	346,287
繰延税金資産	13,483	18,757
その他	85,995	85,044
投資その他の資産合計	357,417	450,089
固定資産合計	543,120	628,299
資産合計	9,665,465	9,513,537
負債の部		
流動負債		
買掛金	302,420	538,785
未払法人税等	3,810	20,621
賞与引当金	53,418	75,340
その他	244,486	255,774
流動負債合計	604,135	890,521
固定負債		
繰延税金負債	-	20,833
退職給付に係る負債	29,622	30,082
資産除去債務	27,224	27,281
その他	87,113	88,939
固定負債合計	143,960	167,138
負債合計	748,096	1,057,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,260,730	1,260,730
利益剰余金	8,718,487	8,179,899
自己株式	△2,472,329	△2,472,329
株主資本合計	8,682,155	8,143,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28,059	47,206
為替換算調整勘定	81,584	76,616
その他の包括利益累計額合計	53,524	123,822
新株予約権	87,909	95,481
非支配株主持分	93,779	93,006
純資産合計	8,917,368	8,455,877
負債純資産合計	9,665,465	9,513,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	703,197	949,604
売上原価	288,994	620,193
売上総利益	414,203	329,411
販売費及び一般管理費	619,959	740,276
営業損失(△)	△205,756	△410,864
営業外収益		
受取利息	2,330	4,687
為替差益	—	50,569
雑収入	896	1,122
営業外収益合計	3,226	56,379
営業外費用		
支払利息	55	—
為替差損	137,496	—
その他	3,787	7,371
営業外費用合計	141,338	7,371
経常損失(△)	△343,869	△361,857
特別利益		
投資有価証券売却益	78,415	—
新株予約権戻入益	—	2,288
特別利益合計	78,415	2,288
税金等調整前四半期純損失(△)	△265,454	△359,568
法人税、住民税及び事業税	6,235	24,532
法人税等還付税額	△3,185	—
法人税等調整額	2,237	△5,274
法人税等合計	5,287	19,258
四半期純損失(△)	△270,741	△378,827
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,582	741
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△261,159	△379,568

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純損失(△)	△270,741	△378,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	298,387	75,265
為替換算調整勘定	△8,618	△4,967
その他の包括利益合計	289,768	70,297
四半期包括利益	19,026	△308,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,609	△309,271
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,582	741

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△265,454	△359,568
減価償却費	17,711	14,824
株式報酬費用	8,240	9,860
新株予約権戻入益	—	△2,288
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,830	21,921
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,636	460
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,065	—
投資事業組合運用損益(△は益)	—	8,129
投資有価証券売却損益(△は益)	△78,415	—
受取利息及び受取配当金	△2,330	△4,687
支払利息	55	—
為替差損益(△は益)	119,175	△37,932
売上債権の増減額(△は増加)	721,177	952,755
棚卸資産の増減額(△は増加)	△40,860	△191,975
その他の流動資産の増減額(△は増加)	19,888	△29,183
仕入債務の増減額(△は減少)	△148,777	241,014
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△5,967	8,820
その他	3	57
小計	361,576	632,208
利息及び配当金の受取額	2,368	4,536
利息の支払額	△55	—
法人税等の支払額	△35,167	△2,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	328,723	634,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△10,891	△7,951
敷金の差入による支出	△588	—
敷金の回収による収入	46	693
投資有価証券の取得による支出	△75,000	—
投資有価証券の売却による収入	199,777	—
その他	502	411
投資活動によるキャッシュ・フロー	113,846	△6,846
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△160,205	△157,685
非支配株主への配当金の支払額	△6,000	△3,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,205	△160,685
現金及び現金同等物に係る換算差額	△122,769	31,194
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	153,594	497,759
現金及び現金同等物の期首残高	7,306,140	6,454,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,459,734	6,952,046

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額
	LSI事業	AIOT事業	合計		
売上高					
日本	241,545	180,309	421,855	—	421,855
韓国	34,190	—	34,190	—	34,190
台湾	26,916	—	26,916	—	26,916
中国	104,300	36,980	141,280	—	141,280
米国他	78,954	—	78,954	—	78,954
顧客との契約から生じる収益	485,907	217,290	703,197	—	703,197
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	485,907	217,290	703,197	—	703,197
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	553	553	△553	—
計	485,907	217,843	703,750	△553	703,197
セグメント損失(△)	△168,885	△36,871	△205,756	—	△205,756

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年1月1日 至 2026年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額
	LSI事業	AIOT事業	合計		
売上高					
日本	127,413	560,730	688,144	—	688,144
韓国	24,761	—	24,761	—	24,761
台湾	24,407	—	24,407	—	24,407
中国	100,940	17,874	118,815	—	118,815
米国他	83,254	10,221	93,475	—	93,475
顧客との契約から生じる収益	360,778	588,826	949,604	—	949,604
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	360,778	588,826	949,604	—	949,604
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	360,778	588,826	949,604	—	949,604
セグメント損失(△)	△400,526	△10,338	△410,864	—	△410,864

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。